

# 第3回 地域医療・AIデザイン研究講座 配信会議

## 山形県から羽ばたく地域医療の新結合 ～産業連携・遠隔医療・地域医療・AI活用の最前線～

日時：2026年2月28日（土）10:15 配信会スタート

会場：天童ホテル + ZOOM（ハイブリッド）

会場受付：9:30～

参加費：1,000円

お支払い方法：現地参加の方→会場受付時

ZOOMで参加の方→指定の口座にお振込

URL：<https://www.yamagata-aidesign.com/haisin202602>

演者：

①小林 剛也 様 財務省大臣官房秘書課 財務官室長

「地域医療を支える地域経済エコシステム」

②高木 俊介 先生 横浜市立大学集中治療科部長・日本遠隔医療学会会長(2026年)

「遠隔医療の将来（案）」

③島貫 隆夫 先生 日本海総合病院理事長

共同演者：阿曾 亮介様・岡部 幸大様 日本海総合病院職員

「デジタルとアートで描く未来のケア：ICTがつなぐ情報・アートがつなぐ心」（仮題）

④町田 宗仁 先生 前国立保健医療科学院 公衆衛生政策研究部長

「診療報酬改定の動向～時代に合わせた保険診療のあり方～」

⑤堤 浩幸 様 アマゾンウェブサービスジャパン常務執行役員

エンタープライズ事務統括本部長/ 山梨市観光大使

「医療DXがもたらすイノベーション（仮）」

⑥山寺 純 様 株式会社Eyes Japan 代表取締役

「医療ITはどうすれば“事業として生き残るのか”」

⑦平竹 雅人 様 一般財団法人竹田健康財団竹田総合病院理事

「多様な視点から考えるイノベーションの進め方」

⑧早坂 達哉 先生 山形大学研究拠点リーダー

「“見える医療”がつくる安心— 地域医療研究におけるAI・ARの可能性—」

（1月5日現在）

参加登録は下記URLかQRコードからお願ひいたします。

<https://forms.gle/1twdz4KaqtEPACau6>

問い合わせ先

地域医療・AIデザイン研究講座

配信会事務局

mail : [yamagataaidesing@gmail.com](mailto:yamagataaidesing@gmail.com)



# 地域医療AI・デザイン研究講座主催 配信会議

## 山形県から羽ばたく地域医療の新結合 ～産業連携・遠隔医療・地域医療・AI活用の最前線～

10:15～ 開会の辞

- ・小林 剛也 財務省大臣官房秘書課 財務官室長
- ・山口 浩明(山形大学地域医療AI・デザイン研究講座/創薬科学講座)

### 【医療とAI、そして遠隔へ】

10:30～12:00

座長 小林 剛也 財務省大臣官房秘書課 財務官室長

- 早坂 達哉(山形大学研究拠点リーダー)  
「見える医療が作る安心－地域医療研究におけるAI/ARの可能性」
- 山寺 純(株式会社Eyes Japan 代表取締役)  
「医療ITはどうすれば“事業として生き残るのか”」
- 高木 俊介(横浜市立大学集中治療科部長・日本遠隔医療学会会長(2026年))  
「遠隔医療の将来(仮)」

13:00～14:30

座長 川前 金幸 山形大学名誉教授/太田西ノ内病院特任病院長

- 小林 剛也(財務省大臣官房秘書課 財務官室長)  
「地域医療を支える地域経済エコシステム」
- 堤 浩幸(アマゾンウェブサービスジャパン常務執行役員)  
「医療DXがもたらすイノベーション」
- 島貫 隆夫/岡部幸大/ 阿曾 亮介  
(地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院)  
「デジタルとアートで描く未来のケア：ICTがつなぐ情報・アートがつなぐ心」

15:00～16:00

座長 山口 浩明(山形大学地域医療AI・デザイン研究講座/創薬科学講座教授)

- 平竹 雅人(一般財団法人竹田健康財団竹田総合病院理事)  
「多様な視点から考えるイノベーションの進め方」
- 町田 宗仁(前国立保健医療科学院 公衆衛生政策研究部長)  
「診療報酬改定の動向～時代に合わせた保険診療のあり方～」

16:30～17:30

### 【アートで共創】

- 小林 剛也(財務省大臣官房秘書課 財務官室長)  
「アートと健康と生き甲斐」を考える

17:30～

ご挨拶

柿崎 慎也(国立大学法人 山形大学学術研究院 人文社会科学部准教授)

開会の辞

川前 金幸(山形大学名誉教授 太田西ノ内病院特任病院長)

18:30～

### 意見交換会